

平成 26 (2014) 年 7 月 4 日定例理事会議事録(案)

庶務主査担当理事 佐藤 (和)

日 時： 平成 26 (2014) 年 7 月 4 日(金) 14:00～16:45

場 所： 大阪「たかつガーデン」 会議室

出席者 (敬称略)

理 事：木口会長，鳥越副会長，神戸副会長，佐藤常務理事，麻生，井田，恵良，今西，入澤，内田，岡田，岡根，兼重，熊井，小林，佐藤 (和)，清水，高田，辻川，寺嶋，中山，橋本，旗手，平塚，松崎，矢島，山浦 (出席数/理事総数 27/29)

委員長： 矢野，岡田 (民)

監 事： 西，角田

事務局： 野口，細田

【議長】 木口会長

はじめに事務局から，今回の理事会出席理事は 27 名 (理事 29 名中) であり，定款第 30 条第 1 項に基づき成立していること，定款 31 条第 2 項により議事録署名人を会長，監事とすることを宣言した。

【定例議題】

1. 前回議事録 (平成 26 (2014) 年 5 月 31 日定例理事会) が異議なく承認された。
2. 財務に関する事項
 - 2.1 2014 (平成 26) 年 5 月 月次収支報告
佐藤常務理事より報告があり，了承された。
 - 2.2 2014 (平成 26) 年度累計及び対前年度比較累計収支報告
佐藤常務理事より報告があり，了承された。
 - 2.3 2014 (平成 26) 年 5 月の会員異動
佐藤常務理事より報告があり，了承された。
2013 年度末 (2014 年 3 月末) に比較して，正会員 15 名，学生会員 10 名，維持会員 3 件増加したと報告された。また，減少分として正会員 26 名，学生会員 21 名，外国会員 9 名と報告された。
 - 2.4 2014 (平成 26) 年 5 月入会会員の承認
佐藤常務理事より説明があり，審議の結果，異議なく承認された。
 - 2.5 会員資格喪失対象者の件
正会員は各支部において，また学生会員については各大学の指導教官を通じて確認をお願いし，7 月末までに本部事務局まで報告することとした。なお外国会員はこれを以て資格喪失とする。
3. 各種委員会に関する事項
 - 3.1 国際関係委員会報告
 - 1) 国際関係委員会審議事項の件
熊井国際関係委員長より，理事以外のメンバーを加えた国際関係委員会の設立が必要である旨説明があり承認された。また，日中並びに日韓交流招待講演，AFC，WFC 等への対応に関する事業において日本鑄造工学会の代表者の参加が切望されており，この対応として会長もしくは副会長，又は理事会で正副代表を決め承認の上，参加することを原則とし，その費用 (旅費，滞在費等) について学会が支給する旨承認された。
日韓交流セッションの設立とその実施について提案があり，国際交流推進のため本事業を速やかに実施する旨承認された。具体的には，日韓で 1 年交代に開催し毎回テーマを決めて講演を募集する。第 1 回目を第 165 回全国講演大会 (北九州) から実施し，テーマは「鑄鉄・鉄鋼に関するもの」でオーガナイズドセッションに 8 件 (日本 4 件，韓国 4 件) の講演を組む旨承認された。
 - 2) WFC2016 実行委員会報告

寺島委員長より6月20日にWFC2016の東海実行委員会を開催しその内容について報告があった。ビルバオ（スペイン）でのWFC2014視察状況について説明（詳細については会誌に掲載する。）と9月までに実行委員会の各分担メンバーを決め、今後、具体的内容について計画推進していく。

3) WFC2016 募金委員会報告

本日13時から開催された支部長会議での各支部の状況を含め、本部事務局の集約状況について佐藤常務理事より報告された。寄附金と協賛広告費合わせて27,340千円（内訳は、企業32社、個人3名、本部扱い分21,800千円、支部扱い5,540千円、寄附金24,640千円、協賛広告掲載2,700千円）となっている。鑄造工学誌への掲載は、86巻6号から開始した。

4) WFO 理事会報告

木村WFO理事がビルバオでの会議に参加した内容について（佐藤常務理事より代理）報告された。主にWFOのあり方（事務局の活動状況などを含めて）について議論がなされた。また、木村理事の任期が2016年までなので、後任の理事選定について木村WFO理事と相談し検討する。

3.2 財務委員会報告

1) 2013（平成25）年度決算纏め最終報告（内閣府提出書類）

佐藤常務理事より、2013年度決算書類の内、正味財産の内訳の見直しを行い、6月25日に内閣府に提出した旨報告された。見直しの結果、当初予測していた収支相償の問題は無くなり、収支相償、遊休資産共に要件を満たし、「特定費用準備資金」を積む必要はなくなった。なお、次年度決算が順調にいくよう今年度予算化していないものも含め、必要なものは理事会審議の上、実施したい。

2) 公益法人会計に関する勉強会開催連絡及び講師料等支払の件

7月16日（水）鑄造工学会事務局内会議室において公益総研株式会社代表福島氏及び会計担当増田氏に講師をお願いして勉強会を開催する。これに関わる費用について提案され承認された。

3.3 編集委員会報告

1) 第164回全国講演大会学生優秀講演賞

講演対象数24件の中から学生優秀講演賞として、明石卓大君（早稲田大学大学院）、夏允幸君（大阪産業大学大学院）、山本裕晃君（東京工業大学大学院）、高山雄介君（東京工業大学大学院）、の4名に決定した旨、平塚委員長より報告。木口会長より、賞状に加えて、副賞を検討するよう指示がなされた。

2) 6月6日編集委員会報告

①査読の電子化を進め、時間の短縮を図りたい。②企業の現場の方にも読みやすく参加しやすい内容にしたい。③現場の若手が発表する時の参考になるようなテキストを作りたい。④会誌のオンライン化を目指したい。⑤論文賞などに評価されたものに対し、英文にするサービスを行いたい。

会誌掲載におけるカタカナ表記となっている元素名を元素記号表記も可能とする旨、報告あり。また、平成26年度現場技術改善事例発表割フォロー表の空欄部を、7月末までに各支部に検討をお願いする。

3.4 行事企画委員会報告

「学生鑄物コンテスト」プレ開催について、9月8日株式会社コイワイにて注湯・鑄仕上げ、10月の秋季大会にて結果発表が出来るように進めている旨、山浦委員長より報告。また、8月29日（金）関西支部と合同で、近畿大学において講習会「鑄物に活用される分析・評価技術の基礎」を開催する。

3.5 企画委員会報告

1) 「2014年度のCasting of the Year 賞」選考の結果、以下の2件選考された旨、清水委員長より報告され承認された。

①「LCD CASE（パソコン外装筐体）」筑波ダイカスト工業株式会社

②「アルミ鑄物製プリンター」株式会社金森メタル

2) 2014年度YFE委員会企画・理系応援プロジェクト開催の件、9月中旬に室蘭工業大学にて第1回目（参加人数；20名、対象校；札幌新川高校、室蘭栄高校、予算；約45万円）、12月初旬に近畿地区にて第2回目の開催を計画之中である。

3) 長期ビジョン小委員会メンバーの件について、第2期長期ビジョン活動推進のために小委員会を発足したい旨、提案され承認された。メンバーは、神戸副会長、清水企画委員長、山浦行事企画委員長、菅

野研究委員長，平塚編集委員長，岡根広報委員長，旗手人材育成委員長，前田先生（大同大学），佐藤常務理事にお願いする。

4. 学会運営及び行事に関する事項

4.1 第164回全国講演大会参加数の報告

佐藤常務理事より，第164回全国講演大会参加数について報告した。当日申込み192名を含み大会登録者が858名であった。講演会762名，懇親会578名，工場見学120名，エスカーション19名，技術講習会は当日申し込みが20名，計149名と大変盛況であった。

4.2 技術講習会「最新の砂型技術」収支報告の件

技術講習会参加収入1,847千円テキスト代等の支出899千円で，剰余金947千円の50%を支部交付金とした旨，報告され承認された。

4.3 第165回全国講演大会概要

恵良支部長より，第165回全国講演大会の概要について説明があった。“アジアへの架け橋，素形材産業の原点「北九州市」”を大会スローガンに掲げ，10月17日～20日，北九州国際会議場にて開催する。工場見学は3班，エスカーション，YFE こども鋳物教室，特別講演会，懇親会（リーガロイヤルホテル小倉），カタログ展示コーナー，技術講習会は「3次元造形技術の進展」を計画している。

4.4 第171回以降の全国講演大会開催支部提案の件

第171回（2018年春）以降の全国講演大会開催支部について，佐藤常務理事より提案された。第171回（2018年春）は関西，第172回（2018年秋）は北陸，第173回（2019年春）は関東，第174回（2019年秋）は九州，第175回（2020年春）は東海，第176回（2020年秋）は北海道，第177回（2021年春）は関東，第178回（2021年秋）は中国・四国で開催する。本件は，仮承認とする。

4.5 常務理事報酬の件

今回の役員改選において新たに佐藤万企夫事務局長が常務理事になられたことから，常務理事の報酬を決めるに当たり，「10-5 特別職員就業規程」及び「10-2 職員給与規程」の一部を改定する旨，佐藤庶務担当理事より提案され異議なく承認された。

5. 各種選考に関する事項

5.1 2015（平成27）年度表彰選考日程の件

佐藤常務理事より，6賞（クボタ賞，飯高賞，功労賞，技術賞，豊田賞，日下賞）の日程は，各支部推薦依頼8月30日，推薦締切10月31日，選考委員会2015年1月23日とする。論文賞，網谷賞の日程は，推薦締切2015年1月23日，最終選考2015年3月編集委員会とする。日本鋳造工学会大賞の日程は，推薦締切2015年2月27日，選考委員会2015年3月18日とする旨，提案され承認された。

6. その他の事項

6.1 学会外表彰候補推薦の件

佐藤常務理事より，文部科学大臣表彰科学技術賞開発部門に2014年度学会外表彰候補者として，「金型ナノカーボンハイブリッド被膜の開発と，アルミダイカスト生産への展開」の古川雄一氏（トヨタ自動車），白川博一氏（トヨタ自動車），山口哲史氏（メックインターナショナル）の3名を推薦する旨，提案され承認された。

6.2 理学・工学系学協会連絡協議会代表委員交代の件

「理学・工学系学協会連絡協議会」は日本学術会議内の会議体で65名の委員会メンバーで構成されており，日本鋳造工学会は「材料工学委員会」に属している。現在登録されている「里副会長」に替わり，木口会長にメンバーになって頂く旨，佐藤常務理事より提案され承認された。

6.3 次回理事会開催日の件

佐藤常務理事より，次回理事会開催日の説明があり承認された。

【日時】2014（平成26）年10月18日（金）12:30～13:50

【場所】北九州市国際会議場 北九州市小倉北区浅野3-9-30

【補足】会長，監事2名が議事録署名人となる。

【当日配布資料】 「理事の責任」，「Castings of the Year 賞応募状況」等

以上